機器利用装置一覧

機器名称	製造会社	型式	製造番号
インパルス発生器	EMC PARTNER	MIG0603IN2	MIG0603IN2
			S-T-1509

〇試験時の注意事項

- → 測定室内での注意事項
 - 機器利用対象機器以外のものに触れないでください。
 - 敷設された配線を踏まないでください。
 - 測定室内での飲食はご遠慮ください。通路スペースをご利用ください。
- → 測定時の注意事項
 - <u>数値データ等の測定結果はありません。</u>試験結果は試験中の製品の状態を写真や メモ等で記録しお持ち帰りください。
 - 機器利用ご利用における規格等の技術的なご質問にはお答えできかねますのでご 了承ください。

〇測定手順

以下の手順により測定を行います。

- 1. 試験品の配置と接続
- 2. 電源電圧の印可
- 3. 試験条件の設定
- 4. 1 試験条件でのサージ波形印加

使用可能な装置/備品

• 安定化電源



・その他



次ページへ続く



1 試験品の配置と接続

現時点では交流電源からの電圧は出力されていません。出力がOFF であるかテスタで ご確認ください。

確認後、試験品を雷サージ試験機に接続します(図中赤枠のコンセントに試験品の電源の コネクタを差し込みます)。



図 6 サージ試験機の外観(AC 電源使用)

DC 電源を用いる場合は、端子台からの電源供給となります。 接続先の極性を間違えない ように事前にテスタでご確認ください。



図 7 サージ試験機の外観(DC 電源使用)

※AC 電源を使用する付属器を電気的に浮かせる場合には、ノイズカットトランスをご利用 ください。図 8の接続例を参考にしてください。ノイズカットトランスは AC100V しか 使用できません。



図 8 ノイズカットトランスを用いた接続例

2 電源電圧の印可

試験品を動作させるために交流電源からの出力をサージ試験機に印可します(サージ波形 は印加されない)。電源を出力するには、PWRボタンを押下してください。点灯するとコン セント側もしくは端子台まで電圧が出力されます(この時点ではサージ波形は印加されません)。



図 9 試験器のコントロールパネル

図 10 電圧の出力

3 試験条件の設定

3.1 サージ電圧の条件設定

各種サージ波形の条件を設定します。



図 11 サージ波形の各種条件設定画面

↑ボタンもしくは↓ボタンを押下し、変化させたい試験条件まで**黒色のバーを移動**させます。変化させたい試験条件まで移動させたら、 ◆ を押下します。 その後、パネルから所望の数値を入力し、再び ◆ を押下します。

IODULAR IMPULSE GENERATOR				
Main 1	CHG 1.2/500 1	EC		
	RAMP Menu]			

図 12 サージ電圧条件

試験条件

- ① 試験レベル(V-peak)・・・印加するサージ電圧のレベル(1.0kV など)
- ② 極性(Polarity)・・・サージ 波形の極性(+,-) 補足:alt は正極印加後に負極を印加します
- ③ 印加回数(Number of Pulses) …サージ 波形を印加する回数
- ④ 供給電圧に対する位相角(Syncro Deg: 交流入力のみ)・・・印加する位相角 0,90,180, 270°
- ⑤ 繰り返し時間(Repetition)・・・サージ 波形印加を繰り返す時間 補足:設定可能な最低時間は試験レ、ルによって左右します 供給電圧に対する ノ 位相角



図 13 試験条件とモニタの対比

繰り返し時間



3.2 相の変換

相を L-N 相や N-PE 相に切り替える場合はの More (F6 ボタン)を押下してください。



図 14 相の変換

↑ボタンもしくは↓ボタンを押下して移動させて、所望の相を選択してeを押下します。 のように on, off の選択可能となりますので、印加する相のみを on に設定してください。 また、同時に他の相は off にしてください。



図 15 サージ波形を印加する相の選択

相の設定が終了したら、MAIN(F3 ボタン)を押下してください。サージ波形設定画面に 戻ります。

※注意

試験する相(例として L-N)のみ on にしてください。他の相は off にしてください。

4 1 試験条件でのサージ波形印加

<u>※注意点</u>

① RUN ボタン押下後は、試験中(RUN ボタンを押した後)、試験機、試験品、そこから 出るケーブルには一切触れないでください。



サージ波形を印加する際は RUN ボタンを押下してください。

設定した印加時間が経過し Time のインジケータが最大になると、リレーの切り替え音がした後に RUN ボタンが点灯して設定した繰り返し時間にサージ波形が印加されます。

② サージ波形の印可を停止したい場合は、RUN ボタンを再度押下してください。図 12 の画面に戻ります。





試験が終了すると、モニタに「Test Completed」と表示されます。

図 18 サージ波形印加終了後

図 18の状態でOK(F3ボタン)を2回押下すると、図 12の画面に戻ります。

以上